

## 第5回生駒市総合計画審議会（全体会）会議録

開催日時 令和5年12月1日（金）14時00分～15時05分

開催場所 たけまるホール 研修室3

出席者

（委員）大谷委員、清水委員、高取委員、久委員、森委員、伊藤委員、楠委員、  
鐵東委員、中垣委員、藤尾委員、上山委員、山上委員

欠席者 田中委員、松山委員、和田委員

（事務局）坂谷市長公室次長、牧井企画政策課課長補佐、桐谷企画政策課企画課員、  
岩川企画政策課企画課員、知浦行政経営課長、掛樋行政経営課主幹

（事業者）三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 島崎主任研究員

議事内容

1 開会

2 案件

（1）第2期基本計画（案）の策定について

（2）パブリックコメントの実施について

（3）その他

3 閉会

以下、発言要旨

1. 開会

【事務局】 （開会宣告、配布資料確認）

以下、発言要旨

2. 案件

【久会長】 今回は第2期基本計画（案）の策定及びパブリックコメントの実施について審議する。

（1）第2期基本計画（案）の策定について

【久会長】 まずは第2期基本計画（案）について審議を進めるが、内容が多岐に

渡るため、総論（案）と各論（案）に分けて審議を行う。「第2期基本計画総論（案）」について、事務局から説明をお願いする。

【事務局】 （資料1-1、1-2について説明）

【久会長】 第2期基本計画総論（案）について、ご意見等はあるか。

【清水委員】 [資料1-2] 第2期基本計画総論（案）委員事前意見一覧表のNo 4について、市民が見て分かりやすくなると良い。例えば、「脱炭素先行地域については、P26で説明されているので参照してください」「住宅地の脱炭素モデルについては、施策11-脱炭素・循環型社会のページを参照してください」等、記載箇所を誘導できるよう工夫されたい。

【森委員】 P26の注釈31について、「地域特性に応じて」に修正されたい。

【久会長】 P40（2）に関連する内容であるが、商工観光ビジョンでは経済循環に関する内容として、「関係性消費」という考え方が導入されており、関係性消費という要素が分かるような記載になれば、商工観光ビジョンとのつながりが良くなる。コミュニティや人と人のつながりによって経済が回っていくことが関係性消費であり、例えば、誰かの推薦で商品を買ってみようと思うことや、口コミで消費が広がること等、人間関係をきっかけとして消費につながっていくことである。

関係性消費という文言を記載する場合は注釈が必要であるが、文言を使用せず、関係性消費の要素が読み取れる内容でも良いと感じている。

総論（案）に関して、意見があった内容について、私と事務局で修正点等を確認し、パブリックコメント案として進めることで良いか。

【他委員】 異議なし。

【久会長】 「第2期基本計画各論（案）」について、事務局から説明をお願いする。

【事務局】 (資料2-1、2-2について説明)

【久会長】 第2期基本計画各論(案)について、ご意見等はあるか。

【大谷委員】 「施策3-子ども・子育て支援」の主な課題①の文言について、コミュニティ・スクールの取組が進んでいる生駒市では、関係機関との連携にとどまらず、協働による活動や行動につなげていくことが次のステップアップになり、コミュニティ・スクールの充実につながっていく。また、関係機関との協働の要素が分かる記載内容を検討されたい。

【久会長】 大谷委員のおっしゃる通り、実際に取組を動かしていくことが重要である。全国的にコミュニティ・スクールは推進されているので、記載内容について再度検討し、パブリックコメントの案とされたい。

## (2) パブリックコメントの実施について

【久会長】 パブリックコメントの実施について、事務局から説明をお願いする。

【事務局】 (資料3について説明)

【久会長】 パブリックコメントについて、大概の場合、資料は紙ファイルに閉じており、表紙等も文字が中心になっている。計画書の完成版はきれいで読みたくなるが、パブリックコメント案の時点では読みたいと思わせるものが少ないと感じている。生駒市はどうか。

【事務局】 パブリックコメント実施時のデザインは計画毎に異なる。教育大綱は生駒山の写真を使用している等、工夫できるのでデザインを検討する。

【大谷委員】 パブリックコメントはどの程度意見が届くのか。

【事務局】 第1期基本計画策定時は約3、40件程度であった。また、今年度実施したスマートシティ構想では9件の意見が届いた。

【久会長】 パブリックコメントでは、問題提起や改善点の提案だけでなく、「計

画案がよくできている」という意見も出せると良いと思っている。改善点以外の意見も出せると、どの程度の人がパブリックコメントを見ているか把握できるのではないかと考えている。パブリックコメントの提出件数だけでは、市民の本当の反応かわからないので把握できるような方法があると良いと思っている。

【鐵東委員】 パブリックコメントへの意見と共に、応援メッセージを記入できると良いのではないか。

【伊藤委員】 概要版資料について、「総合指標①の生駒市への転入超過人口（純移動数）」の算出根拠は記載しないのか。

【事務局】 総論（案）P33の内容を転記している。内容が分かりやすくなるよう、コメントを転記する等調整する。

【久会長】 「詳しく知りたい場合は本文をご覧ください」等の表記にすれば、概要版から計画案に誘導できるのではないか。

【伊藤委員】 市民目線ではP33の説明だけでは、目標値が40人になる根拠が分かりにくいと感じる。

【事務局】 転入超過人口（純移動数）については、単年度の転入者数と転出者数の差を表すものである。出生数と死亡者数の差を示す自然減の状況も把握しながら、人口動態の全体を見ていく必要がある。

【伊藤委員】 自宅周辺は家が増えている印象である。一時的かもしれないが人口は増えていくのではないかと考えている。

【事務局】 令和3年は転入超過人口（純移動数）がプラスになったが、住宅も多く建設された年でもあり、関連があるのではないかと推察している。近年は0～14歳、35～44歳の転入超過人口（純移動数）は増加傾向であり、一方で60代以降は転出超過傾向である。

【 森 委 員 】 P 1 3 の「転入数・転出数・社会増減数の推移」とP 3 3 の総合指標の数値が異なっているので、出典等を含めて確認されたい。

【 久 会 長 】 丁寧に説明した方が伝わりやすいと思うので、記載内容等工夫されたい。

計画等を市民に知ってもらうためには努力と工夫が必要であると考えている。他市の話为例にするが、市民自治条例施行5年後の条例認知率が15%であった。例えば、ごみの分別等、徹底しなければ市行政への影響が大きい場合は、自治会等に依頼して対応を徹底する傾向にあるが、自治基本条例や計画の周知等は直接的な影響が少なく、特段周知等ができていないことで認知度が低迷した。伝えたいことは、計画等を市民に読んでほしいと考えるのであれば、周知等に工夫をする必要があるということ。

パブリックコメントを実施する時点でも、説明会の実施や出張説明を行う等、工夫できるのではないか。パブリックコメントのチラシに、説明に伺う旨記載する等、総合計画へ関心を持ってもらえるよう現段階から取り組まされたい。

### (3) その他

【 久 会 長 】 その他、全体について、ご意見やご質問はあるか。

【 森 委 員 】 総論（案）の「第6章行財政改革の考え方（行政改革大綱）」について、行政改革推進委員会での審議について紹介したいと思う。今回の第2期基本計画の策定にあわせて、行政改革大綱を見直し、第6章として一体化した。行政改革を総合計画と一体的に進める点は、チャレンジなことであると認識している。これまで行政改革は歳出の削減が中心であったが、行政改革推進委員会では、歳出削減だけでなく次の生駒市の在り方も意識して議論を進めてきた。「4 推進手法」に記載のとおり、今後は総合計画と連動していくことになる。総合計画に掲げる各施策の推進と同時に、行政改革の観点からも指針と連動して進行管理を行うことになると考えている。

【 久 会 長 】 第6次総合計画においてEBPMの推進を謳っているが、徹底できて

いるとは言い難く、より一層推進していく必要があり、総合計画と行政改革大綱の一体化は期待できるものである。

協働の現場では、「2 目指すべき方向性」の（4）多様な主体との連携・協創だけではなく、職員一人一人の日々の業務の中から生まれるものであることから、（5）機動的な組織運営に向けた仕事の進め方・働き方の改革も重要となる。また、臨機応変な意思決定ができるような仕組みづくりも必要である。組織体制や意思決定の仕組みだけでなく、ICTも活用することで、地域の現場と市役所を即時でつなぐなど、意思決定を迅速に行うことができるのではないかと。庁内における意思決定をスムーズにすることはもちろん、市民や事業者とも即時に共有できる仕組みが整うと協働が進んでいくのではないかと思う。

パブリックコメント（案）の取りまとめまで、委員各位のご尽力に感謝申し上げます。

【事務局】 （庶務連絡、閉会宣言）

— 了 —